

北九州市議会議員 中村よしお

北九州リハビリ報告

9月議会号 <NEWS>

- 女性副市長・子ども家庭局新設！
- 平成18年度決算議会報告
- 中村よしお 本会議一般質問報告



北九州市初女性副市長決まる！

9月議会が9月4日～10月3日の日程で開催されました。

今議会の目玉は北九州市初の女性副市長と子ども家庭局の新設です。この二つは、

北橋健治市長のマニフェストの中心項目です。子育て支援に力を入れる市長の子育て施策のシンボルともいえます。

しかし、問題も抱えています。他都市でも女性副市長や女性教育長のポストを作っているところもありますが、あまりうまくいっていないところが多こと、副市長3人のうち、



2人が国からの出向で、地元の副市長が1人しかいないことなどです。市役所の幹部は殆ど男性です。副市長を女性だから選ぶのではなく、まず、女性の能力をきちんと評価できる市役所になってほしいと思います。

目次：

北九州市初女性副市長決まる！	1
副市長プロフィール	1
平成18年度決算報告	2
本市の財政状況	2
水辺の楽校完成！ 総事業費なんと42億円！	2
中村よしお一般質問内容	3
家庭ゴミ回収制度 見直しから1年たちました	4

副市長プロフィール

麻田千穂子（46歳）

福岡高校（福岡市）、東大法学部卒業後、1983年4月に旧労務省（現厚労省）に入省。

同局総務課調査官、労働基準局賃金時間課長、厚生労働省雇

用均等・家庭局職業家庭両立課長を経て、本年8月24日付けで大臣官房付けとなる。

10月9日付で、本市副市長に就任。



麻田千穂子副市長

北九州市を
リハビリ
するぞ！



平成18年度決算報告

平成18年度は末吉市政最後の決算になりました。本市の財政は地方交付税等の国からの仕送りが大幅に削られる中、非常に厳しい状況にあります。

一般質問では、昨年起こりました門司区の生活保護申請者や小倉北区の保護辞退者孤独死の問題や北九州空港

へのアクセス鉄道の建設見込み、中学校給食等の質問が多くなされていました。

決算特別委員会では**7億円を超える赤字を出し、今のままではあと2・3年で破綻も予測されている市立病院のあり方**について活発な議論がされました。

本市の財政最大のピンチは平成21年度！本市の特徴は、まだ借金はできるが、現金がない？

本市の財政状況

国からの仕送りに相当する「**地方交付税**」が**125億円削られ、本市の財政は非常に厳しい状況です。**

その特徴は①自主財源が乏しい(政令市最下位)、②実質公債費率が政令市一低い(まだ、借金することができる)、③義務的経費(人件費や福祉等の扶助費)が政令市一低い、④投資的経費(公共事業等)が政

令市で上から4番目と高い、等です。投資的経費はH12年に比べ4割程度削減されているにもかかわらず、上位に位置していることから、今まで福祉にお金をかけず、大型公共投資に力を入れていたかがわかります。

本市の借金返済のピークはH21・22年度です。これをどう乗り切るか、大変な課題です！！

『水辺の楽校』完成！ 総事業費なんと42億円！

八幡東区の高見地区にいきなり道路が広がっている場所をご存じでしょうか？道路に沿った板櫃川周辺を子供達が水にふれあう空間作りを目的に「水辺の楽校」と名付け7月30日に完成しました。

事業費は土地買収費32億

円、建設費10億円、計42億円です。高見からちょっと上流に行けば、河内水源があります。決算特別委員会で建設目的等、問いたしましたが、納得のいくものではありませんでした。

改めて、市民の皆様や議員の監視の目が大切と感じました



水辺の楽校

中村よしお本会議一般質問内容(本会議の質問内容と答弁)

1. 北橋市長の公共事業に対する考え方について？

＜市長＞：教育・福祉・子育て及び企業誘致に必要な基盤整備などを重点化しながら行っていく。

①. 硬式野球をしたくてもグラウンドが確保できない。硬式野球が可能なグラウンドを整備すべき！

＜市長＞：若松市民運動場について硬式野球仕様まで拡充できないか調査中、今年度中に調査結果をまとめる予定。

②. 障害者スポーツ促進のため障害者スポーツセンターおよび障害者用屋内プールを整備すべき！

＜市長＞：「障害者スポーツ振興検討委員会」での議論を見守っていきたい。

2. 環境や健康等の観点から自転車の利用促進をするべき！

＜市長＞：歩行者の多い市街地では、自転車利用者と歩行者がお互いに配慮し、共存することで、安全な歩行空間を形成できる幅広い歩道を引き続き整備していく考え。

＜建築都市局長＞：自転車利用促進策など検討を深めていく

①民間のグループが企画している自転車ウォークラリー「チャリ・de・北九州」を市も応援してはどうか？

＜企画政策室長＞：色々な観点から非常に意義深いイベント。市も成功に向けしっかり支援していく。

3. 観光施策についての基本的な考え方について、歴史や文化、史跡、食等、本市ならではの物を観光資源と考えた方が良いのでは？

＜経済文化局長＞：本市ならではの観光資源を発掘し様々な検討を深め、本市の観光資源を生かした効果的な観光客誘致を行っていく。

①観光資源を「北海道遺産」同様、「北九州遺産」と銘打ち、PRしてはどうか？

＜経済文化局長＞：先進的な事例である「北海道遺産」の取り組みも大いに参考にしたい。

②足立山麓を観光地として案内表示や説明表示を整備してはどうか？

＜経済文化局長＞：来訪者の見やすさなども勘案しながら設置していきたい。

4. 市職員の福祉の質を上げるために福祉専門職員を採用してはどうか？

＜総務市民局長＞：平成20年度採用試験に向けて、福祉専門職員としての試験区分を明確にする方向で、人事委員会と協議して参りたい。

5. 命の大切さを認識するために、「命の日」を作ってはどうか？

＜総務市民局長＞：命の大切さを再認識する日をつくることの意義は十分理解している。今後研究していきたい。

6. グリーフケア(近親者を亡くした方の心のケア)の啓発をするべき！

＜保健福祉局長＞：グリーフケアの考え方の普及に努めていきたい。

[質問翌日の新聞→](#)



7. 障害のある方々の災害時対応について示されたガイドラインが実行できているか？

＜保健福祉局長＞：障害のある方など要援護者ご自身や関係団体の意見を伺いながら、一方では個人情報保護にも十分配慮を行いながら、今後とも実効性と継続性のある仕組みづくりを行いまして、要援護者支援の強化に努めていきたい。

北九州市議会議員 中村よしおプロフィール

中村よしお事務所

北九州市小倉北区足原2丁目1-39

電話 093 (932)8533

Fax 093 (922)8277



会派:自民市民クラブ(無所属)

役職:保健病院委員長(保健福祉局・病院局所管)

資格:作業療法士(リハビリの専門職 経験22年)

その他:北九州市立霧丘中学校PTA会長

小倉南北ソフトボール連盟会長

小倉南北バレーボール連盟会長

小倉リトルシニア父母会副会長

勝山足立ライオンズクラブ会員

(社)福岡県作業療法協会顧問

家庭ゴミ回収制度見直しから1年たちました

昨年7月から家庭ごみ収集制度が見直され、一般ゴミ袋が

(大)15円→50円、資源ゴミ袋(大)無料→12円になりました。

その成果を報告します。

- ①一般家庭ゴミ量削減:25%減(目標20%)
- ②古紙集団回収量:H15年18,691t → H18年約32,000t
- ③直方、遠賀、水巻、中間市等、近隣町からの越境ゴミ混在率

H17年度:45%→H19年度:9.4%

等、効果が出ているようです。皆さんの感想をお聞かせ下さい。

